



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 トーア紡コーポレーション
 コード番号 3204 URL <http://www.toabo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 渡
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 近江 学
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-7178-1158

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	9,644	3.3	321	10.3	300	34.9	202	27.1
28年12月期第2四半期	9,335	0.9	358	31.5	222	15.0	277	26.5

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 180百万円 (%) 28年12月期第2四半期 431百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	22.73	
28年12月期第2四半期	31.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	33,778	11,424	33.8	1,280.11
28年12月期	32,367	11,422	35.3	1,279.87

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 11,417百万円 28年12月期 11,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		20.00	20.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年12月期の配当予想につきましては、引き続き未定としております。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	4.5	620	7.8	470	3.7	320	20.1	35.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	8,940,448 株	28年12月期	8,940,448 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	21,522 株	28年12月期	21,391 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	8,919,030 株	28年12月期2Q	8,919,169 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に個人消費においても持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済は不確実性が高まっており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,644百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は321百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益は300百万円（前年同期比34.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[衣料事業]

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造および販売を行っております。

毛糸部門では、国内糸はニット糸、織糸ともに販売が低調で減収となりましたが、中国での毛糸販売が好調で、国内外合わせると増収となりました。

ユニフォーム部門では、学校向け制服素材はほぼ昨年並みに推移し、ニット製品も昨年に引き続き堅調で増収となりました。企業向け、官公庁向けはともに昨年は大口の案件がありましたが、今年は低調で大幅な減収となりました。

テキスタイル部門では、郊外量販店向けメンズ素材、およびレディース素材は昨年を上回る販売で増収となりました。

この結果、衣料事業は、売上高4,046百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益71百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

[インテリア産業資材事業]

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア製品の製造および販売を行っております。

ポリプロファイバー部門は、住宅建材用、車両向け原綿が堅調に推移し増収となりました。

カーペット部門は、住宅関連用途、OEM、カーマット関連、ホテル物件等堅調に推移し増収となりました。

不織布部門は、寝装用途、緑化資材・防草資材は堅調に推移しましたが、土木資材が低調で微減収となりました。

特殊繊維部門は、金属繊維およびカーボン繊維製品とも堅調に推移しました。

自動車内装材部門は、昨年立ち上がりの量販車種や輸出向け車種が好調に推移し増収となりましたが、利益面では販売価格の低迷と原材料高や運送費等の経費増で厳しい結果となりました。

自動車内装材製造販売の中国子会社は、主力の小型車の販売が減税幅の縮小により伸び悩みましたが、SUV型車種の販売が好調で増収となりました。

この結果、インテリア産業資材事業は、売上高3,458百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益100百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

[エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っており、電動工具向けのコントローラーの受注は堅調に推移しましたが、一方で、家電向け樹脂成型品の受注が振るわず、売上高993百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益22百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

[ファインケミカル事業]

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、工業用薬品の製造および販売を行っており、機能性電子材料向け中間体の販売が堅調に推移し、売上高491百万円（前年同期比22.7%増）、営業利益65百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

[不動産事業]

不動産事業は、郊外型ショッピングセンター・オフィスビル等の賃貸を行っており、稼働率の向上に努め、且つ保有資産の効率化を行った結果、売上高462百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益278百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

[その他]

その他の事業は、自動車学校の運営、新規事業および中国における貿易業務などを行っております。自動車学校は、前年並みの入校生を確保することができ、順調に推移しました。新規事業は、化粧品原料や食品原料を取り扱っており、新たに中国向けの健康食品を受注しましたが、全体としては販売が伸びず、減収となりました。また、中国子会社の販売も減少したため、売上高は191百万円（前年同期比17.9%減）、営業損失0百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,410百万円増加し、33,778百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金および電子記録債権の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比1,408百万円増加し、22,353百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加および社債の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比2百万円増加し、11,424百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加、利益剰余金の増加および為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,138	1,462
受取手形及び売掛金	2,758	3,758
電子記録債権	1	842
商品及び製品	1,863	1,955
仕掛品	532	661
原材料及び貯蔵品	1,318	1,502
繰延税金資産	90	94
その他	399	330
貸倒引当金	△49	△32
流動資産合計	9,052	10,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,307	2,228
機械装置及び運搬具(純額)	658	603
土地	17,093	17,089
リース資産(純額)	71	67
建設仮勘定	19	30
その他(純額)	61	84
有形固定資産合計	20,211	20,105
無形固定資産		
のれん	0	0
その他	55	51
無形固定資産合計	55	52
投資その他の資産		
投資有価証券	2,336	2,361
繰延税金資産	1	2
その他	750	734
貸倒引当金	△41	△53
投資その他の資産合計	3,047	3,044
固定資産合計	23,315	23,202
資産合計	32,367	33,778

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,588	1,744
短期借入金	5,773	5,705
1年内償還予定の社債	510	460
未払法人税等	46	58
その他	787	709
流動負債合計	8,705	8,678
固定負債		
社債	830	600
長期借入金	4,672	6,408
繰延税金負債	4,663	4,672
退職給付に係る負債	1,069	1,032
長期預り敷金保証金	934	907
資産除去債務	43	43
その他	25	9
固定負債合計	12,239	13,675
負債合計	20,945	22,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	3,570	3,570
利益剰余金	2,709	2,733
自己株式	△19	△19
株主資本合計	10,201	10,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732	756
繰延ヘッジ損益	9	0
為替換算調整勘定	471	434
その他の包括利益累計額合計	1,214	1,191
非支配株主持分	7	7
純資産合計	11,422	11,424
負債純資産合計	32,367	33,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,335	9,644
売上原価	7,593	7,883
売上総利益	1,741	1,761
販売費及び一般管理費	1,382	1,439
営業利益	358	321
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	27	28
保険差益	0	24
その他	10	10
営業外収益合計	41	68
営業外費用		
支払利息	78	61
持分法による投資損失	3	2
為替差損	56	6
その他	39	19
営業外費用合計	177	89
経常利益	222	300
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	2
国庫補助金	10	—
特別利益合計	10	2
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
固定資産圧縮損	10	—
減損損失	—	3
特別損失合計	10	4
税金等調整前四半期純利益	222	298
法人税、住民税及び事業税	115	88
法人税等調整額	△170	7
法人税等合計	△55	96
四半期純利益	278	202
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	277	202

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	278	202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	24
繰延ヘッジ損益	△47	△9
為替換算調整勘定	△368	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	△7
その他の包括利益合計	△709	△22
四半期包括利益	△431	180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△431	180
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222	298
減価償却費	189	207
減損損失	—	3
のれん償却額	0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	△37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	△3
受取利息及び受取配当金	△30	△33
支払利息	78	61
固定資産廃棄損	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産圧縮損	10	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2
補助金収入	△10	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,015	△1,849
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△408	△410
仕入債務の増減額 (△は減少)	123	156
長期預り敷金保証金の増減額 (△は減少)	△24	△29
その他	△138	△104
小計	△946	△1,740
利息及び配当金の受取額	31	31
利息の支払額	△83	△64
法人税等の支払額	△147	△77
法人税等の還付額	0	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,144	△1,845
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△232	△297
定期預金の払戻による収入	186	—
投資有価証券の取得による支出	△158	△5
投資有価証券の売却による収入	—	10
関係会社出資金の売却による収入	35	81
有形固定資産の取得による支出	△128	△115
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△60	△20
貸付金の回収による収入	—	45
補助金の受取額	10	—
その他	△6	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△355	△305

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	670	△45
長期借入れによる収入	2,350	3,583
長期借入金の返済による支出	△1,719	△1,887
社債の発行による収入	490	—
社債の償還による支出	△340	△280
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14	△1
配当金の支払額	△177	△176
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,260	1,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△307	△971
現金及び現金同等物の期首残高	1,405	1,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,097	1,019

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,950	3,191	1,095	400	464	9,102	232	9,335	—	9,335
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	6	13	1	8	31	151	182	△182	—
計	3,951	3,197	1,108	401	473	9,133	383	9,517	△182	9,335
セグメント 利益又は損 失(△)	107	105	32	43	254	543	△1	542	△183	358

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△183百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,046	3,458	993	491	462	9,453	191	9,644	-	9,644
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	6	18	2	8	37	156	194	△194	-
計	4,047	3,465	1,012	494	471	9,491	347	9,838	△194	9,644
セグメント 利益又は損 失(△)	71	100	22	65	278	538	△0	537	△215	321

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、新規事業等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△215百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。